



バックアップ アプリケーション Arcserve UDP 9000 v2 シリーズのご紹介

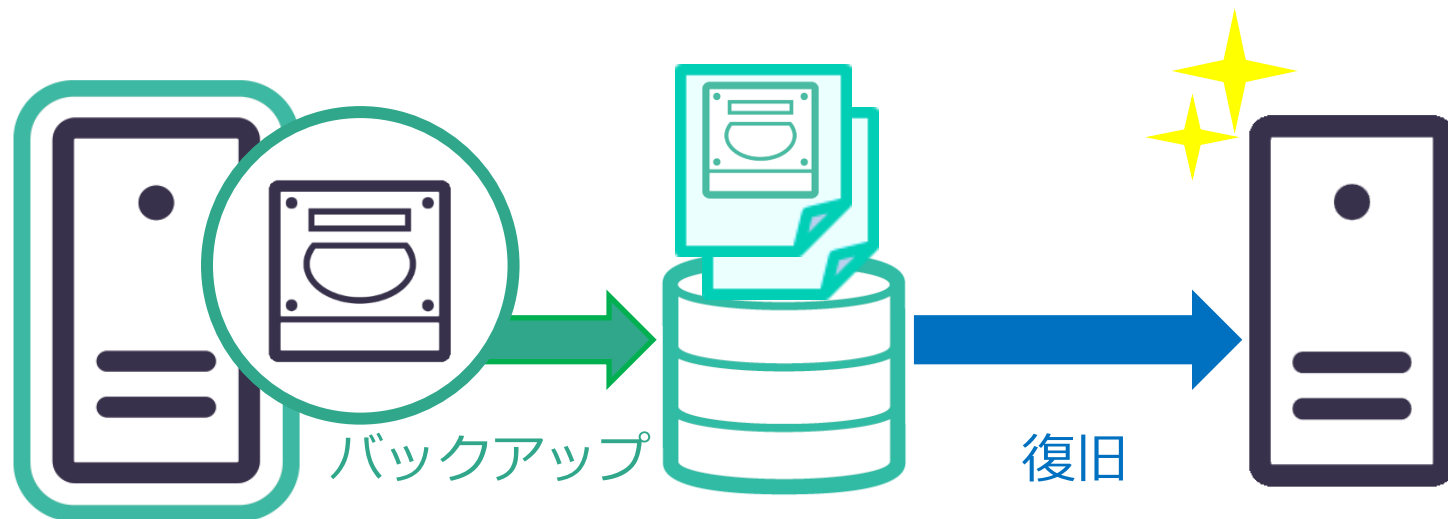
arcserve Japan 合同会社

超簡単イメージバックアップ Arcserve UDP



イメージバックアップとは

イメージバックアップとはファイル単位ではなく、ハードディスク全体を丸ごとバックアップし、ファイルに保存するデータ保護手段。OSを含め一気にリカバリできるのでシステム全体を簡単に復旧できます



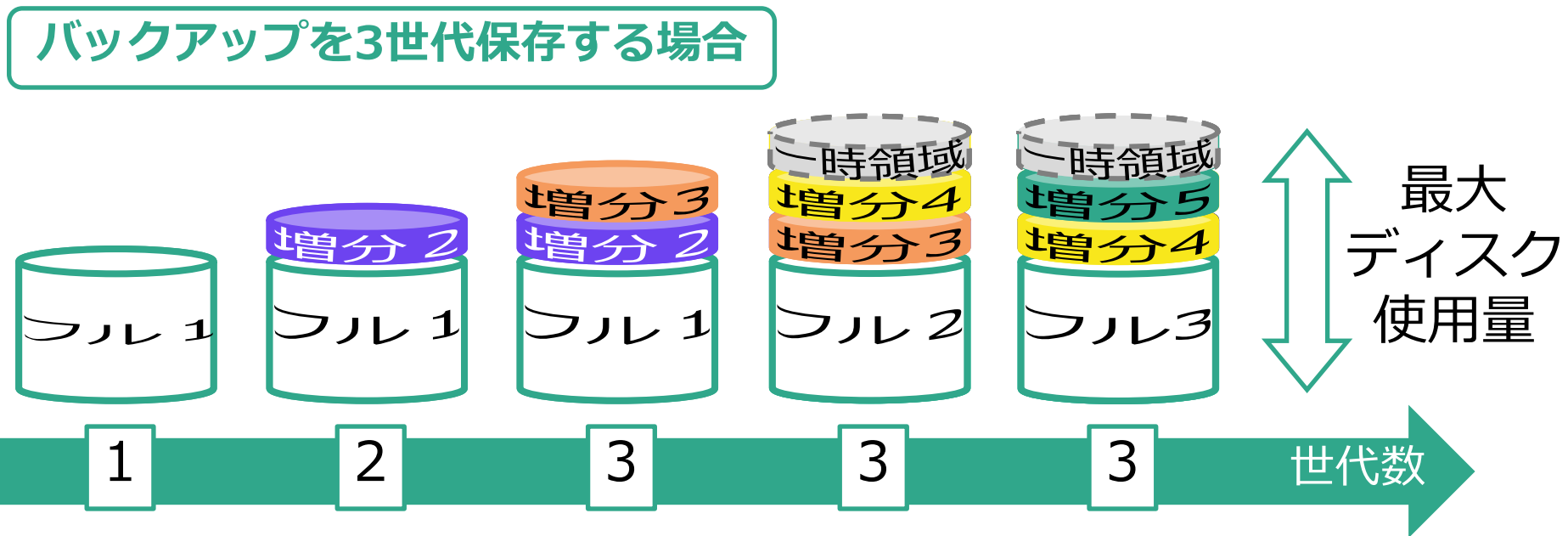
Arcserve UDPが選ばれる理由①

短いバックアップ時間



Arcserve UDPなら**フルバックアップは初回だけ**。以降は増分だけなので、速くて効率的！！

- ▶ バックアップの世代数が設定された数(*)を超えた際、
最も古い増分とフルを合成させてフルバックアップの世代を更新



※初期設定では7個を保持(最大1440個まで設定可)



<事例> 霧島酒造様のバックアップデータ量推移



Arcserve UDPが選ばれる理由②

1つのコンソールですべてを管理できる

Windows/Linux、物理/仮想、バックアップ/レプリケーションをまとめて管理！
複数の製品を覚える必要はありません。

仮想マシン
(エージェントレス)



物理サーバ (Windows)



物理サーバ (Linux)



クライアントPC



ノード	アクション	ノードの追加	フィルタ	ノードの追加	フィルタ	ノードの追加	フィルタ	ノードの追加	フィルタ	ノードの追加	フィルタ
すべてのノード											
展開可能なノード											
vCenter/ESX グループ											
Exchange Online ノード											
UNC または NFS パス											
SharePoint Online ノード											
OneDrive ノード											
プラン											
すべてのプラン											
デスティネーション											
物理ホストサーバ											

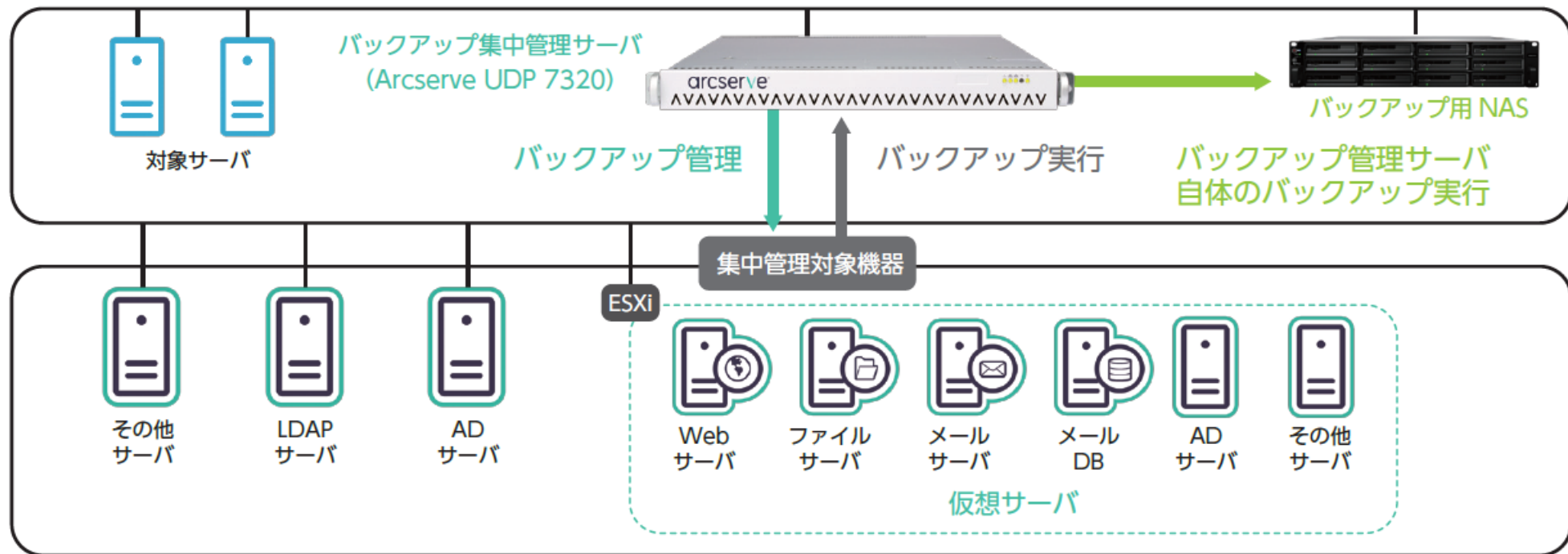
バックアップ - 増分	バックアップ - 増分	バックアップ - 増分
2021/04/28 14:00:00	2021/04/27 18:00:00	2021/04/27 18:00:00

ブラウザ (Edge / Chrome / Firefox) を使ってどこからでもアクセスできる



<事例> 甲南女子学園様のバックアップ構成

サーバごとにバラバラに行っていたバックアップを Arcserve UDP Appliance へ**一元化**！！
導入以前は**数日**かかっていたメールデータ復旧作業が**20分**程度に短縮！！





Arcserve UDP 9000 v2 シリーズとは？

Arcserve UDP をプリインストールしたバックアップ専用アプライアンス。
ストレージ容量 **8TB~80TB** の 6 モデルを用意しています。

従来モデルの 9000 シリーズから CPU、メモリ、SSD を新世代のものに更新しています。
オンボードのネットワークは **10GBase-T ×2ポート** で、8000 シリーズ以前より強化しています。



Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ ここがすごい！



1、インストール不要の簡単セットアップ

バックアップ/リカバリに必要な管理コンポーネントはすべてインストール済。ウィザードに従い基本的な設定をするだけで**すぐに使えます**。

2、バックアップ用に最適化されたハードウェア

重複排除機能用のSSDを標準搭載。**メモリ/SSDのサイジングが必要ありません**。
バックアップ先の容量を 8TB ~ 80TB の間で選ぶだけ！

3、Arcserve UDP のライセンスを使い放題

バックアップ対象の数や容量に関わらず、Arcserve UDP Advanced Edition のライセンスが使い放題。後から**サーバ台数が増えても安心**です。

Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ メンテナンス内容



- ・ 納品から**5年間**のメンテナンスが標準セット
- ・ サポートへのお問い合わせはソフトウェア版と同じ窓口で対応
- ・ ハードウェア故障には**オンサイト**（現地訪問）対応が可能
（現地訪問は問題特定から4時間駆けつけ目標※）
- ・ Arcserve UDP の**無償アップグレード**が可能 ※※

- ※ サービス拠点(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡)より30km圏内での目標となります。
- ※ サポートの受付/作業時間は平日9時～17時30分です。ハードウェア サポートの受付/作業時間を延長する「24時間/365日 ハードウェア サポート オプション」もあります。
- ※※ アップグレード作業はお客様にて実施いただきます。



ストレージ/テープへの接続

イーサネット、SAS、FC などのカードを増設できます。
より**高速**なバックアップ/リストアや、**テープデバイス**への
二次バックアップが可能になります。

[Arcserve UDP 9000 v2 シリーズ (1U) 背面パネル]



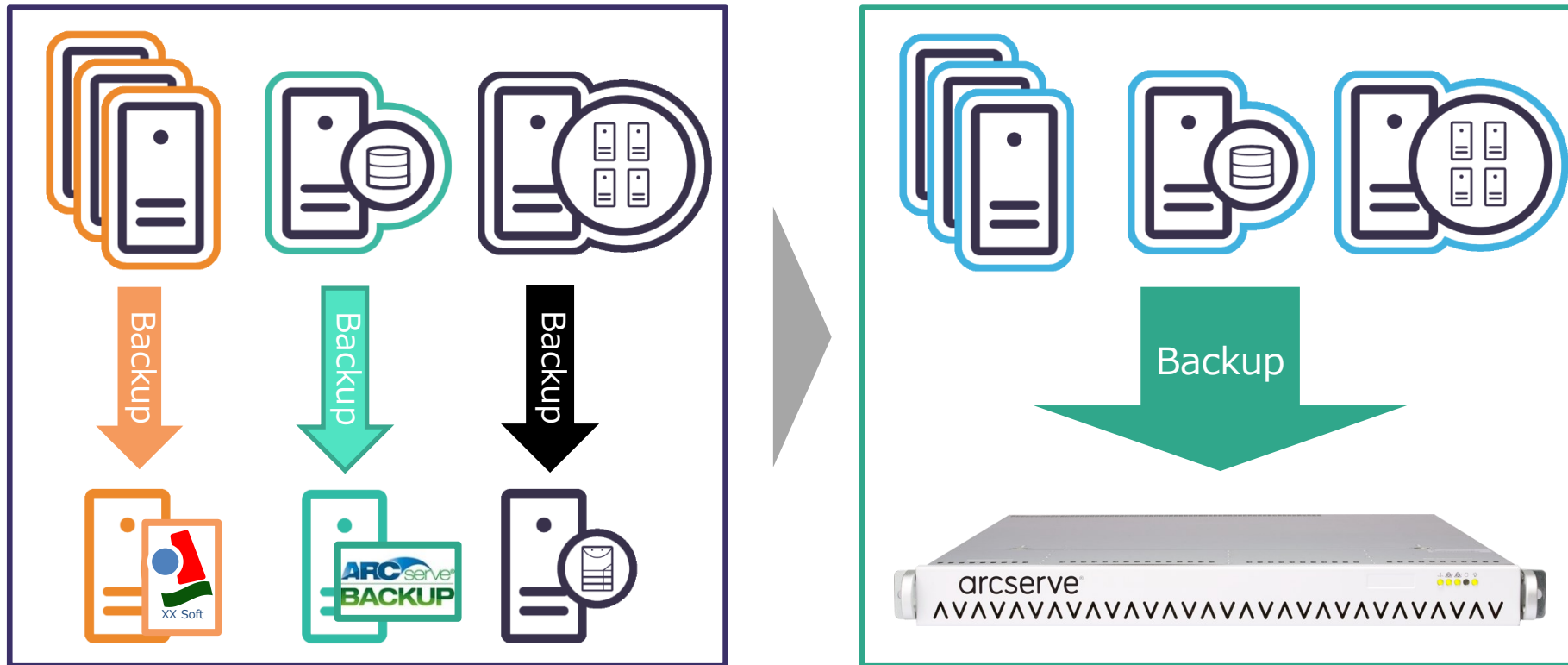
PCI-E 3.0 増設スロット

- ※ 増設カードはオプションとして購入する必要があります。
- ※ 1Uモデルは最大2つ、2Uモデルは最大5つ増設できます。



(利用例 1) 混在環境の統合管理





システムごとにバラバラで、時間がかかったバックアップの運用管理を
Arcserve UDP 9000 v2 シリーズで **シンプルに統合** できます！





(利用例 2) 仮想化を検討中のお客様へ

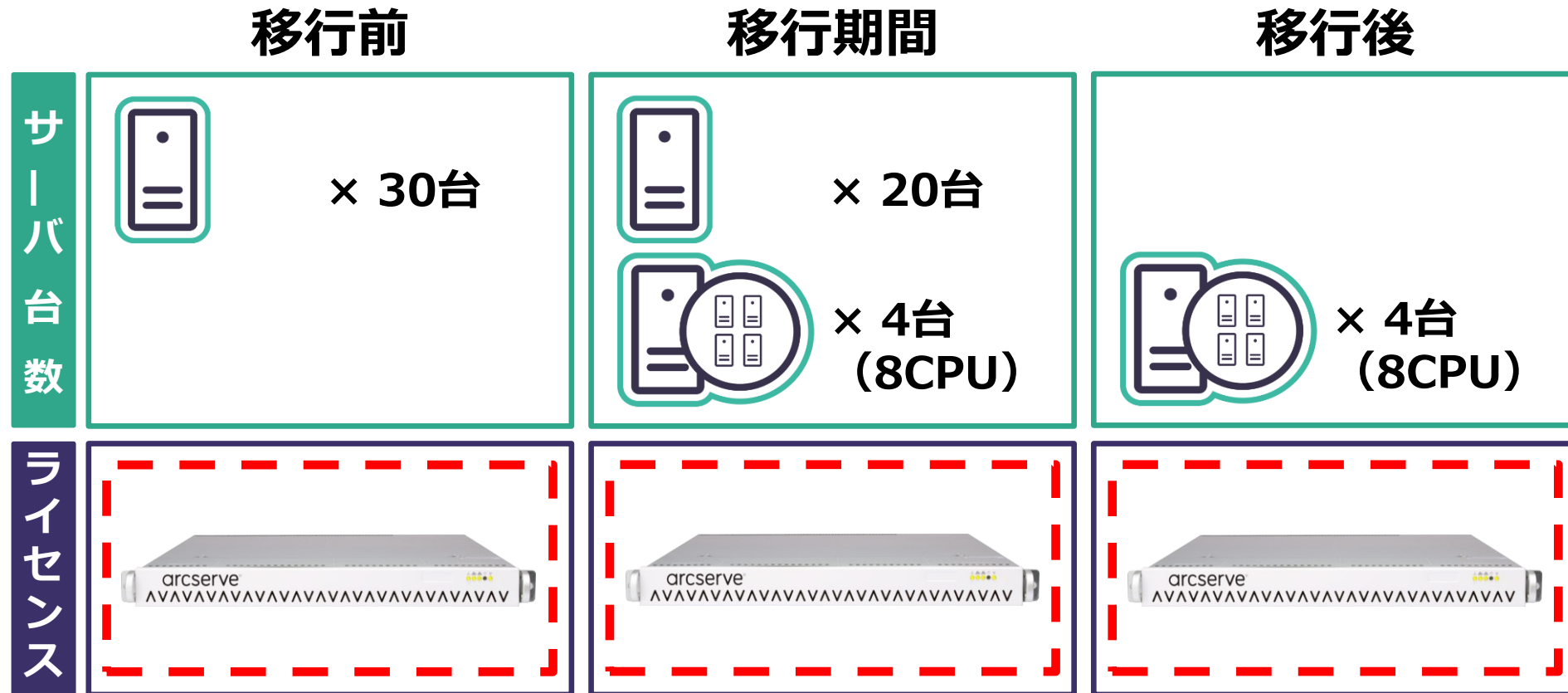
バックアップ対象に対して課金されるライセンス体系だと、
過渡期に無駄が出る可能性があります。

	移行前	移行期間	移行後
サーバ台数	 × 30台	 × 20台  × 4台 (8CPU)	 × 4台 (8CPU)
ライセンス	UDP per Server ×30	UDP per Server ×20 UDP Per Socket ×8	UDP Per Socket ×8



(利用例 2) 仮想化を検討中のお客様へ

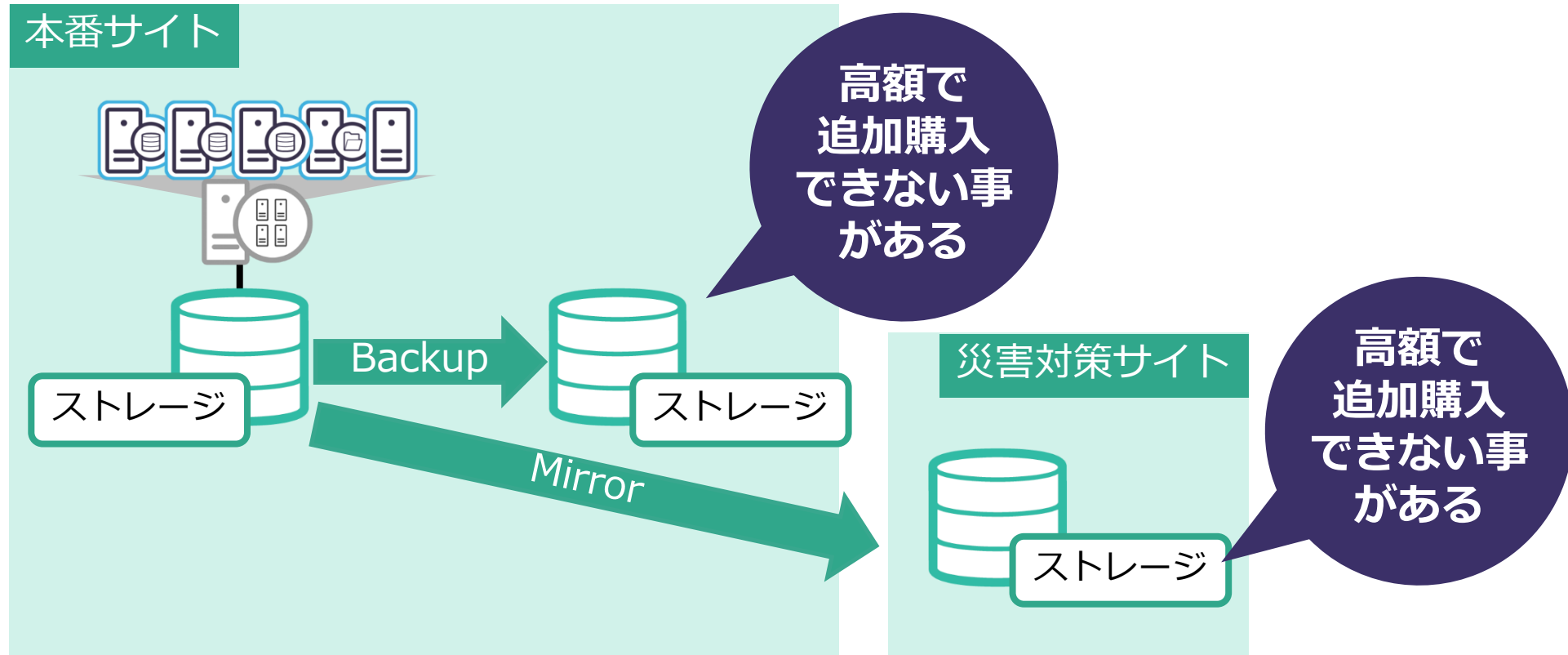
ライセンスが使い放題のArcserve UDP 9000 v2 シリーズなら
移行前も移行期間も移行後も**無駄なく**そのまま使えます！





(利用例 3) 仮想基盤の遠隔バックアップ

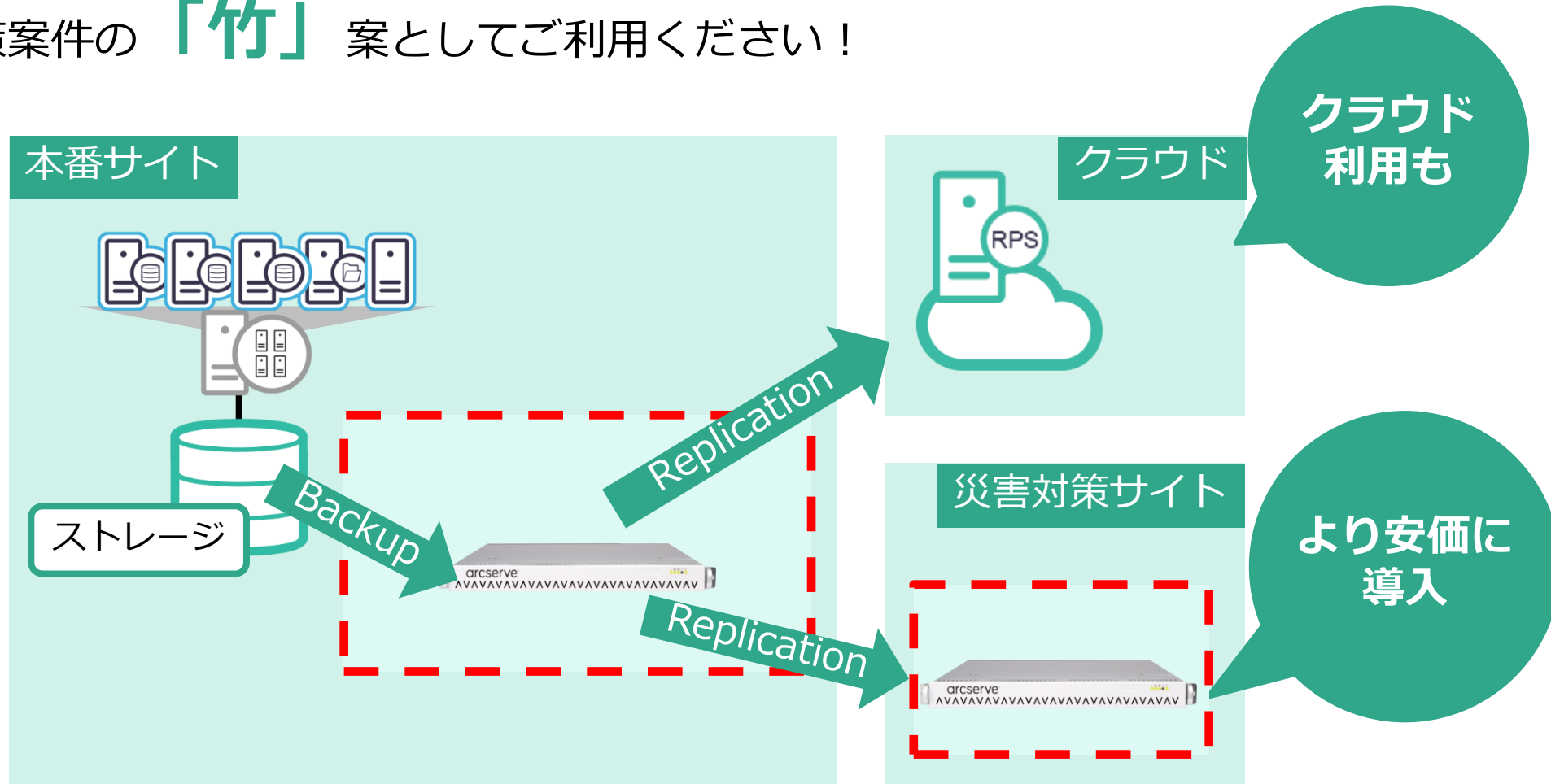
ストレージの機能でバックアップやデータの遠隔転送を行おうとすると、プライマリストレージと同等の高額なストレージが3倍の台数必要に…





(利用例 3) 仮想基盤の遠隔バックアップ

高すぎる遠隔バックアップを Arcserve UDP 9000 v2 シリーズでより安価に。
災害対策案件の「竹」案としてご利用ください！



Arcserve UDP 9200 v2 / 9220 v2 仕様



(※ 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト)

	Arcserve UDP 9200 v2	Arcserve UDP 9200-6 v2	Arcserve UDP 9220 v2	Arcserve UDP 9220-6 v2
オペレーティングシステム	Windows Server 2022 Standard Edition			
ストレージ容量 (RAID設定)	12TB (RAID5)	8TB (RAID6)	24TB (RAID5)	16TB (RAID6)
ハードディスクドライブ	4TB SAS × 4		8TB SAS × 4	
ソリッドステートドライブ (重複排除用)	240GB SSD		480GB SSD	
プロセッサ	Intel Xeon Silver 4310T, 10コア 20スレッド, 2.3 GHz			
RAM	32GB			
IPMI & ネットワークインターフェース	IPMI x 1 & 10 GbE (RJ45) x 2			
拡張スロット	PCI-E 3.0 スロット × 2 にオプションのSAS/FC/イーサネットカードを増設可能			
寸法 (H x W x D)	4.3 x 43.7 x 65cm (1U - 19" ラックマウントレール付)			
重量	最大14.8kg			
電源ユニット	700/750W x 2 (リダンダント)			
消費電力 (起動時/アイドル時/高負荷時)	308W(311VA)/134W(138VA)/226W(228VA)			
電源定格	100v-240v AC 50/60Hz			

標準搭載される機能

Arcserve UDP Advanced Edition : 継続的な増分バックアップ, 共有フォルダ (CIFS/NFS) のバックアップ, 仮想マシンのエージェントレスバックアップ, Windows PC の保護, グローバルデデュプリケーション, システムのベアメタル復旧, ファイル/フォルダ単位のリストア, バックアップデータの遠隔転送, テープへの二次バックアップ(オプションの増設カードが必要), Active Directory / SQL Server / Exchange Server / SharePoint Server / Oracle DB のオンラインバックアップ, 仮想スタンバイ, インスタントVM, 統合管理コンソール 等

Arcserve UDP 9400 v2 / 9420 v2 仕様



(※ 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト)

	Arcserve UDP 9400 v2	Arcserve UDP 9420 v2
オペレーティングシステム	Windows Server 2022 Standard Edition	
ストレージ容量 (RAID設定)	40TB (RAID6)	80TB (RAID6)
ハードディスクドライブ	4TB SAS × 12	8TB SAS × 12
ソリッドステートドライブ (重複排除用)	960GB SSD	1920GB SSD
プロセッサ	Intel Xeon Silver 4310T, 10コア 20スレッド, 2.3 GHz x 2	
RAM	64GB	
IPMI & ネットワークインターフェース	IPMI x 1 & 10 GbE (RJ45) x 2	
拡張スロット	PCI-E 3.0 スロット × 6 にオプションのSAS/FC/イーサネットカードを増設可能	
寸法 (H x W x D)	8.9 x 43.7 x 64.7cm (1U - 19" ラックマウントレール付)	
重量	最大25.8kg	
電源ユニット	1000/1200W x 2 (リダンダント)	
消費電力 (起動時/アイドル時/高負荷時)	694W(698VA)/280W(284VA)/461W(464VA)	
電源定格	100v-240v AC 50/60Hz	

標準搭載される機能

Arcserve UDP Advanced Edition : 継続的な増分バックアップ, 共有フォルダ (CIFS/NFS) のバックアップ, 仮想マシンのエージェントレスバックアップ, Windows PC の保護, グローバルデデュープリケーション, システムのベアメタル復旧, ファイル/フォルダ単位のリストア, バックアップデータの遠隔転送, テープへの二次バックアップ(オプションの増設カードが必要), Active Directory / SQL Server / Exchange Server / SharePoint Server / Oracle DB のオンラインバックアップ, 仮想スタンバイ, インスタントVM, 統合管理コンソール等



ソフトウェア アップグレード オプション

Arcserve UDP 9000 v2 シリーズの標準機能 (Advanced Edition) を強化し、**Premium / Premium Plus Edition** の機能が使用できるオプションです。

Edition 別機能一覧	Advanced	Premium	Premium Plus	利用できる製品
イメージバックアップ / 共有フォルダ (CIFS/NFS ※1) のバックアップ	●	●	●	Arcserve UDP
バックアップデータの重複排除や転送 (レプリケート)	●	●	●	
統合管理	●	●	●	
仮想マシンのエージェントレスバックアップ (vSphere/Hyper-V/AHV ※1)	●	●	●	
仮想スタンバイ/インスタントVM	●	●	●	
バックアップデータのテープ保管 (D2D2T)	●	●	●	
VSS ライタを利用したアプリケーションのオンラインバックアップ	●	●	●	
アシュアードリカバリとSLAレポート	●	●	●	
役割ベースの管理		●	●	Arcserve Backup
ハードウェアスナップショット対応 (NetApp/Nimble/3PAR/DellEMC Unity)		●	●	
Oracle RMAN と連携したバックアップ		●	●	
Arcserve Backup すべての機能/全エージェント/全オプションの利用 ※2		●	●	Arcserve Replication/HA
Arcserve Replication ファイル サーバのデータ複製		●	●	
Arcserve Replication アプリケーション サーバのデータ複製			●	
Arcserve High Availability ファイル / アプリケーション サーバの自動切替			●	

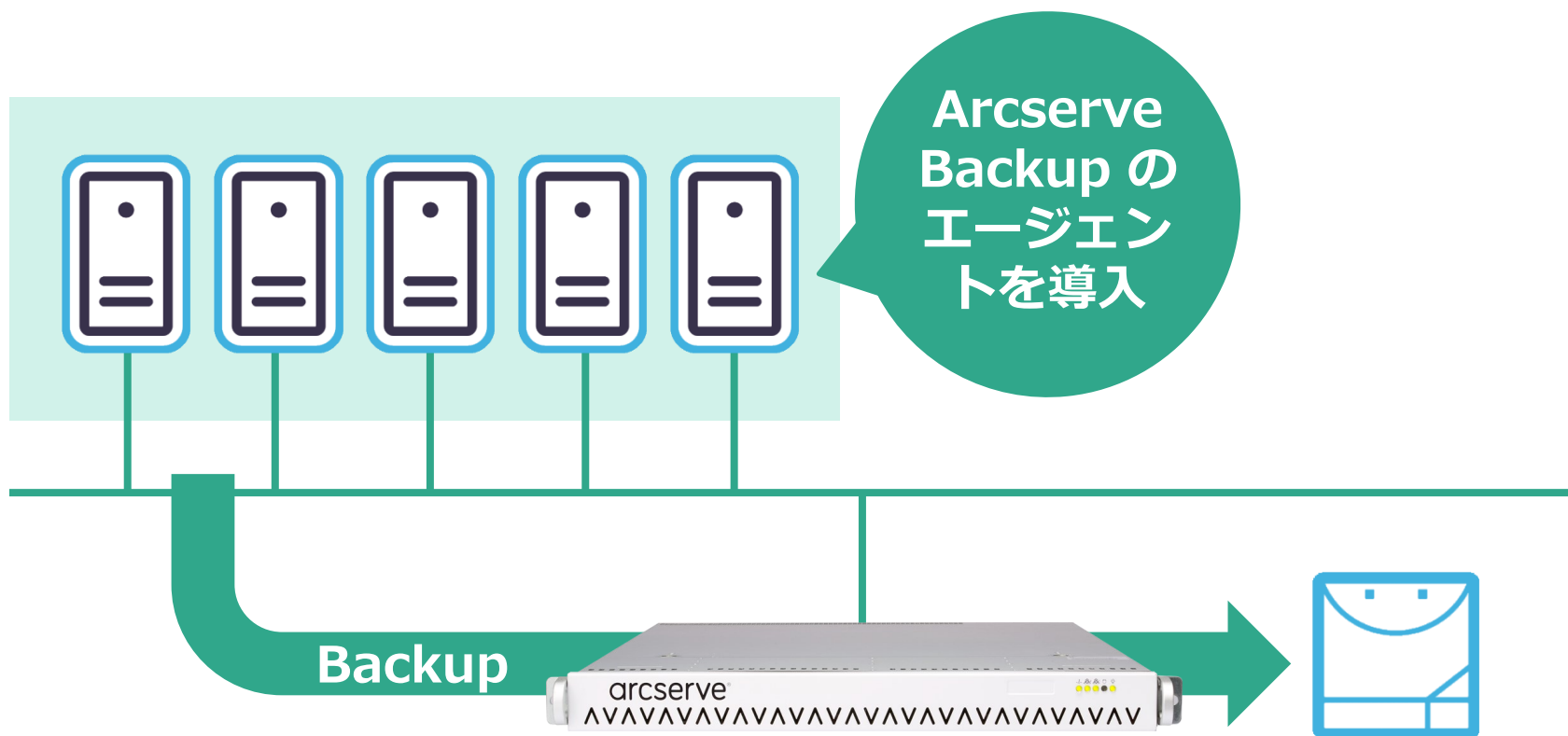
※1 : 購入時に申請いただく事で、AHV 上の仮想マシンまたは Nutanix Files のバックアップを行うための Advanced Edition for Nutanix ライセンスを提供いたします。

※2 : 「すべての機能/全エージェント/全オプション」とは、日本語の動作要件に記載されている製品 (機能) が対象です。

ソフトウェア アップグレード オプションの利用例



Arcserve UDP 9000 v2 に接続したテープ装置へ一次バックアップ。
Premium Edition にアップグレードする事で、Arcserve UDP 9000 v2 シリーズのストレージと同容量までのバックアップ対象データを **Arcserve Backup** で守れます。



※ 上記の構成ではテープ装置に接続するための SAS/FC オプション カードも必要です。

価格表（本体）



製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
本体製品		
Arcserve UDP 9200 v2 Integrated Backup Appliance (RAID5、12TBモデル)	¥5,900,000	¥6,490,000
Arcserve UDP 9200-6 v2 Integrated Backup Appliance (RAID6、8TBモデル)	¥4,900,000	¥5,390,000
Arcserve UDP 9220 v2 Integrated Backup Appliance (RAID5、24TBモデル)	¥8,900,000	¥9,790,000
Arcserve UDP 9220-6 v2 Integrated Backup Appliance (RAID6、16TBモデル)	¥7,900,000	¥8,690,000
Arcserve UDP 9400 v2 Integrated Backup Appliance (RAID6、40TBモデル)	¥12,900,000	¥14,190,000
Arcserve UDP 9420 v2 Integrated Backup Appliance (RAID6、80TBモデル)	¥17,900,000	¥19,690,000

※ 最新の価格表は <https://arcserve.com/jp/jp-resources/licensing-options/> でご確認ください。

※ Nutanix AHV、Nutanix Files 環境をご利用予定の方は購入時に申請していただければ無償で対応するライセンスを提供します。

価格表（オプションカード）



製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
オプションカード		
4 port 1GbE network card (4 x RJ45 Copper)	¥149,000	¥163,900
2 port 25GbE network card (2 x SFP28) - Mellanox MCX4121A-ACAT*1	¥136,000	¥149,600
2 port 10GbE network card (2 x RJ45 Copper) - Intel X550T2*7	¥316,000	¥347,600
HBA for Tape Devices - Broadcom SAS 9500-8e (2 x SFF8644 connector)	¥382,000	¥420,200
16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter (1 x 16Gb Fibre) – Marvell QLE2690-SR-CK *6	¥648,000	¥712,800
16Gb Fibre Channel Host Bus Adapter (2 x 16Gb Fibre) – Marvell QLE2692-SR-CK *6	¥944,000	¥1,038,400

※ 最新の価格表は <https://arcserve.com/jp/jp-resources/licensing-options/> でご確認ください。

※ 各製品にはケーブルは付属しません。別途ご用意ください。

*1 Mellanox社製の Direct Attached Cable または SFP+ トランシーバをご利用いただくことを推奨します。

*6 納品までに通常よりもお時間をいただいております。詳しくは Arcserve ジャパン・ダイレクト または Arcserve 営業までご相談ください。

*7 2023年6月26日以前に出荷済み（Arcserve UDP 8.1 & Windows Server 2019以前が搭載）の Arcserve UDP Appliance へは増設できません。



価格表（その他のオプション）

製品名称	価格（税別）	総額（税込価格）
ソフトウェア アップグレード オプション		
Software Upgrade to Premium Edition	¥2,600,000	¥2,860,000
Software Upgrade to Premium Plus Edition	¥5,100,000	¥5,610,000
Software Upgrade to Premium Edition（9400/9420 v2用）	¥6,400,000	¥7,040,000
Software Upgrade to Premium Plus Edition（9400/9420 v2用）	¥12,800,000	¥14,080,000
サポート オプション		
24時間365日 ハードウェア サポート オプション *2	¥1,780,000	¥1,958,000
Arcserve バリュースポート(1ヶ月) *3	¥111,000	¥122,100
Arcserve UDP 9200/9200-6 v2 (12TB/8TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥53,000	¥58,300
Arcserve UDP 9220/9220-6 v2 (24TB/16TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥93,000	¥102,300
Arcserve UDP 9400 v2 (40TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥129,000	¥141,900
Arcserve UDP 9420 v2 (80TBモデル) HDD/SSD 返却不要オプション *4	¥267,000	¥293,700

※ 最新の価格表は <https://arcserve.com/jp/jp-resources/licensing-options/> でご確認ください。

- *2 弊社営業時間外の間合せ受付はハードウェアの問題に限ります。切り分け後にソフトウェアの問題だと判明した場合は、翌営業日以降の対応になります。
- *3 バリュースポートを同時に購入する事で、納品日より30日以内先の日付をメンテナンス開始日として指定できます。バリュースポート期間中のテクニカルサポートは平日9:00-17:30での対応となります。
- *4 HDD/SSDを修理交換する際に、故障部品を弊社に返却することなくお客様にお引渡しするサービスです。HDD/SSD障害と判断された場合にのみ有効なオプションで、ソフトウェア障害等には適用されませんのでご注意ください。また、ホルダーは交換・返却頂く必要がございますのでご了承ください。

もっと詳しく知りたい方は



Arcserve.com/jp のカタログ センターに掲載されている設定手順書やお客様導入事例、「よくある質問と回答」もご覧ください。

Arcserve カタログセンター

検索



The screenshot shows the Arcserve Catalog Center website. The main navigation bar includes links for '無償トライアル', 'サポート', 'Arcserve 製品ブログ', 'カタログセンター', 'イベント・ウェビナー', and 'クラウドポータルログイン'. Below the navigation, there are dropdown menus for '製品', 'ソリューション', 'パートナー', '購入方法', and '会社概要', along with a search icon and a 'お問い合わせ' button. The main content area is titled 'カタログセンター' and features a sidebar with categories: シリーズ, クラウドサービス, UDP, UDP Appliance (highlighted), Arcserve OneXafe, and Backup. The main content area displays 'UDP Appliance' with a sub-section 'UDP Appliance - カタログ:' containing links to 'UDP Appliance 9000シリーズ製品カタログ', 'UDP Appliance 8000シリーズ製品カタログ', and 'UDP Appliance 7000シリーズ製品カタログ'. Below this is another sub-section 'UDP Appliance - プレゼンテーション:' with links to 'UDP Appliance 9000 シリーズご紹介プレゼンテーション', 'UDP Appliance 8000 シリーズご紹介プレゼンテーション', and 'UDP Appliance 7000 シリーズご紹介プレゼンテーション'.

arcserve®

FAQ / Arcserve Appliance / Rev1.1

ライセンスに関する良くあるご質問と回答

Arcserve® UDP 9000 Appliance シリーズ

- 1. Arcserve UDP 9000 Appliance シリーズ（以下 Arcserve UDP 9000 シリーズ）では標準でどの機能が使えますか？**
Arcserve UDP Advanced Edition および Arcserve UDP Advanced Edition for Nutanix の機能が使えます。Arcserve UDP Premium Edition 以上の機能である「役割ベースの管理」や「ハードウェア スナップショット対応」、「アシユアード リカバリと SLA レポート」を使用するには、ソフトウェア・アップグレード オプション製品をご購入ください。
- 2. 仮想スタンバイやインスタント VM 機能を使用できますか？**
はい、オプション不要で使用できます。パフォーマンスの観点で、Arcserve UDP 9000 シリーズ とは別の仮想基盤に仮想マシンを作成することをお勧めします。
- 3. Nutanix AHV 上の仮想マシンや Nutanix Files を保護できますか？**
はい、Arcserve UDP 7.0 以降を利用することで、オプション不要で Nutanix AHV 上の仮想マシンのエージェントレス バックアップや Nutanix AHV を利用した仮想スタンバイ/インスタント VM が行なえます。また、Arcserve UDP 8.0 以降では Nutanix Files のスナップショットと連携したバックアップが可能です。Nutanix AHV/Nutanix Files をご利用予定である事を Arcserve UDP 9000 シリーズの購入時に [Registration form](#) に記入いただくか、[無償アップグレード申請フォーム](#) でお知らせいただければ、必要なライセンスを提供いたします。

Arcserve UDP Appliance 導入事例



国際基督教大学 様

HCIへのシステム移行
(V2V) とエージェントレス
バックアップに Arcserve
UDP Appliance を採用。

入間市役所 様

ライセンスフリーの
Arcserve UDP Applianceで
仮想化基盤のバックアップ費
用を大きく削減！

江別市役所 様

Nutanix AHV と VMware
のバックアップ一本化。バック
アップの質が向上したことが
一番の効果。

arcserve® Arcserve UDP 7300 Appliance 導入事例 |

> 大学教育を支える仮想化システム
基盤 (HCI) をエージェントレスの
無停止バックアップで構築
物理サーバの仮借契約にライセンスフリーの Arcserve UDP 7300 Appliance が貢献

ユーザープロフィール | 業 種: 学校法人
学校名: 国際基督教大学 | ICU 国際基督教大学

課題	経緯	導入	効果
<p>業務用サーバ、インフラ系 iSCSI、DNSなどのシステムなど、 物理サーバを多く保有していた。 また、システム全体の運用、 管理の複雑化も課題となっていた。 また、2011年の東日本大震災に 伴って、物理サーバの稼働に 不安を感じ、物理サーバの バックアップの重要性を再認識 した。物理サーバのバックアップ は、物理サーバの稼働に支障を 与えないよう、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>2011年に東日本大震災に伴って、 物理サーバの稼働に不安を感じ、 物理サーバのバックアップの 重要性を再認識した。物理サーバ のバックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>エージェントレスの Arcserve UDP Appliance を導入し、 物理サーバのバックアップを 物理サーバの稼働時にバックアップ を行う必要がある。物理サーバ のバックアップは、物理サーバ の稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>バックアップが、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>

assured recovery

arcserve® Arcserve UDP Appliance 導入事例 |

新仮想化基盤に導入した
Arcserve UDP Applianceで
目指すのは、行政サービスの向上
中長期的IT戦略にも対応可能なライセンスフリーでコスト削減と事業継続性向上を後押し

ユーザープロフィール | 業 種: 自治体
会社名: 埼玉県入間市 | 入間市役所

課題	経緯	導入	効果
<p>業務用サーバ、インフラ系 iSCSI、DNSなどのシステムなど、 物理サーバを多く保有していた。 また、システム全体の運用、 管理の複雑化も課題となっていた。 また、2011年の東日本大震災に 伴って、物理サーバの稼働に 不安を感じ、物理サーバの バックアップの重要性を再認識 した。物理サーバのバックアップ は、物理サーバの稼働に支障を 与えないよう、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>2011年に東日本大震災に伴って、 物理サーバの稼働に不安を感じ、 物理サーバのバックアップの 重要性を再認識した。物理サーバ のバックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>エージェントレスの Arcserve UDP Appliance を導入し、 物理サーバのバックアップを 物理サーバの稼働時にバックアップ を行う必要がある。物理サーバ のバックアップは、物理サーバ の稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>バックアップが、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>

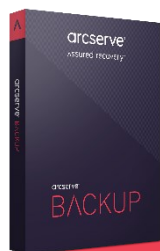
arcserve® Arcserve UDP Appliance 導入事例 |

Nutanix AHV の新仮想化基盤の
バックアップに
Arcserve UDP Appliance を採用
エージェントレス、60%削減の運用コストなどで運用負荷も軽減

ユーザープロフィール | 業 種: 自治体
会社名: 北海道江別市 | 江別市役所

課題	経緯	導入	効果
<p>業務用サーバ、インフラ系 iSCSI、DNSなどのシステムなど、 物理サーバを多く保有していた。 また、システム全体の運用、 管理の複雑化も課題となっていた。 また、2011年の東日本大震災に 伴って、物理サーバの稼働に 不安を感じ、物理サーバの バックアップの重要性を再認識 した。物理サーバのバックアップ は、物理サーバの稼働に支障を 与えないよう、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>2011年に東日本大震災に伴って、 物理サーバの稼働に不安を感じ、 物理サーバのバックアップの 重要性を再認識した。物理サーバ のバックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>エージェントレスの Arcserve UDP Appliance を導入し、 物理サーバのバックアップを 物理サーバの稼働時にバックアップ を行う必要がある。物理サーバ のバックアップは、物理サーバ の稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>	<p>バックアップが、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。物理サーバの バックアップは、物理サーバの 稼働時にバックアップを行う 必要がある。</p>

導入前にご参加ください：Arcserve 無償ハンズオン セミナー



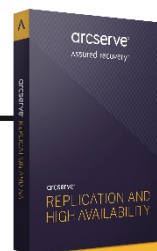
Arcserve
Backup

1. 入門編
2. システム復旧編



Arcserve
UDP

1. 前編(Agent)
2. 後編(Server)
3. Linux Agent 編



Arcserve
Replication/
High Availability

1. 前編 (Replication)
2. 後編 (HA)



お申込 & 詳細はWebで！

Arcserve セミナー

検索

